

令和4年9月22日

令和4年

第9回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和4年9月22日（木曜日）午後2時から

1 出席委員（5名）

小 黒 仁 史	教育長
三 留 利 夫 委 員	教育長職務代理者
高 橋 幸 子 委 員	
深 澤 佳 己 委 員	
北 内 英 章 委 員	

2 出席職員（4名）

教育総務部長	今 井 健太郎
教育総務課長	政 木 純 也
学務課長	大 竹 豊 和
指導課長	早 川 隆 之

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

~~~~~

(午後2時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和4年第9回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
なお、弘瀬委員につきましては、あらかじめ本日欠席の届出がありましたので、ご報告いたします。

本日は傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

それでは、大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は、定足数を満たしていますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に深澤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は教育長の報告事項でございます。

○教育長

私からは、現在開催されている区議会の代表質問についてご報告いたします。

9月13日から第3回大田区議会定例会が始まりました。その中で教育について各代表質問がありましたので、教育長の私が5問ほど答えました。その内容について、今日は報告させていただきたいと思っています。

まずは、区が小学5、6年生で独自に進めていこうというSTEAM教育の充実についての質問がございました。STEAMというのは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術・教養)、Mathematics(数学)の頭文字を取ったものです。どういう教育かということ、社会とのつながりを重視して、各教科で学んできたことを横断的に生かして、これからの社会の在り方などについて学んでいく教育です。そのSTEAM教育の中で、大田区の子どもたちに未来社会をたくましく生きていく創造力など、そのような力を養うために、新たに独自の教科を作っていこうと取り組んでいます。

この区独自の教科では、学校と地域を含めた、いわゆるものづくりや、先端技術であるとか、そういうようなことを含めて企業家の方、事業をやっている方からお話を聞きながら、問題の解決、社会とのつながりを重視した教育となっております。

今、研究校というのが何校かありまして、そういったことについて実践されています。例えば、日本工学院専門学校にご協力いただき、専門学校の先生から動画の編集方法を学んで、その学んだ技術を使って、学校、自分たちが住んでいる地域の良いところや魅力を、CMで伝えるといったことに取り組みました。それから、プログラミング教育をやっているのですけれど、学んだプログラミングの技術を使って、低学年の子どもたちが楽しめるゲームを高学年の子が作ってあげるといったことが行われています。また、地元の企業と連携しながら、観光スポットを紹介するカプセルトイというものを製作しました。それから、勝海舟記念館での記念品を子どもたちが作るという企画をしました。自分たちが住んでいる地域と密着し、そこに住んでいる方々と連携した教育というのを進めています。そういった授業の様子を見ると、意欲的に創意工夫しながら取り組んでいる様子が見られました。

令和7年度から、小学校全校でこの教科の授業づくりをしていこうと取り組んでいるところです。そして、各専門家、企業・団体との連携関係を構築していくということをお答えさせていただきました。今後は、学校と企業・団体とのマッチングを行うシステムや、ICTを活用したプラットフォームの形成を検討して、全校での実施に取り組んでいきたいと報告させていただきました。

二つ目の質問は、新たなおた教育ビジョンを策定するにあたって、今の子どもたちの状況を見ると、伴走型というのですか、子どもたちに寄り添っていく、そういうような教師の指導力が必要なのではないか、それをどのように高めていくのか、という内容でした。

子どもたちに寄り添って、一人一人の力を引き出す先生の指導力というのは、やはり教育活動の中で最も大切なものの一つであるというふうにお答えさせていただきました。特に今、価値観が非常に多様化しており、教育環境も大きく変わっている中で、子どもの変化や成長を敏感に捉えて、かつ粘り強く育てていく教師の力量が強く求められています。このような状況を踏まえ、新ビジョンの中でも、教師の指導力向上を最重要施策として取り組んでいくということをお話しさせていただきました。

とりわけ教師の活動の中心は、やはり授業ですよね。その授業の中で子どもたちに向けて、主体的、対話的な深い学びを目標に授業を改善しているのですけれど、そういう授業を通じて子どもたちに迫っていく、そのような力をしっかりつけていきたいということと、各小中学校では授業研究をやっているのですけれども、それをさらに充実して授業を実施することを中心に行っていきたいとお話しさせていただきました。

それから、伴走型の教師の指導力というのは、いじめ問題であるとか、不登校であるとかが関わってくるのですけれども、様々な教育課題に対して、学校では先生たちが組織的に活動していく中で培われていくので、そのような組織的な対応を図る中で教育委員会としても指導力の向上をあわせて図っていきたいということを述べさせていただきました。

次の質問は、学校防災活動拠点について、学校の教職員がさらに地域の方々と連携して、防災教育を充実する必要があるのではないかというご質問でした。これについては、令和元年度に文部科学省から、児童・生徒の命を守り抜くために、これまで以上に学校防災体

制を構築するよう通知が出ています。また、地域の防災訓練に子どもたちが積極的に関わっていくなど、学校、家庭、そして地域が連携した防災教育の重要性ということをお話させていただきました。

その上で、学校では避難訓練を毎月やっているのですが、そういった訓練や、地域での防災訓練に先生たちが参加するとか、地域の方、区の職員、教職員が普段から訓練を通して、顔が見える関係の中で学校防災力をさらに強めていきたいということをお話させていただきました。

四つ目の質問は、学校給食についてです。この物価高騰の中で給食費の無償化を求める動きがありますが、それについてはどうかというご質問がありました。

給食の食材の調達に費用がかかる物価高騰の中で、今度の第三次補正予算の中で緊急対策として実施する方向で提案させていただいているということをお話させていただきました。

給食費の無償化については、学校給食法第 11 条で、学校給食の実施に必要な設備、運営に関する経費は、学校設置者である区と、それ以外の経費は児童または生徒の保護者の負担とするという規定がありますので、それに基づいて教育委員会としては給食費用の確保を図っていきたいということをお申し述べさせていただきました。

また、学校給食費に関する経済的な支援について、生活困難と認められるような世帯に対しては、生活保護、就学援助事業で実質的な負担額が生じないように、引き続き取り組んでいくということをお答えさせていただきました。

最後に、国歌「君が代」に対する指導についてのご質問がありました。これは、指導をされていない学校があったのではないかということのご質問でした。小学校の学習指導要領に、音楽科というところで、国歌「君が代」をいずれの学年においても歌えるように指導をするということが示されています。学校の式典である入学式、卒業式など、必要なときには子どもたちが歌えるように指導する必要があるということをお述べさせていただきました。

国歌「君が代」を指導できなかった学年があったということは事実であって、学校に聞いてみますと、コロナ禍による休業の中で、代替教員に引継ぎができずに「君が代」の指導がされなかったというようなことや、休業の影響があって、その学年についてはその授業が行われなかったということがありました。

教育委員会としては、国歌「君が代」歌唱は、いかなる場合にも指導をする必要があるということで、その教育課程に関する調査等を行って、再発防止に取り組んでいきたいとお話しさせていただきました。

教育長として代表質問にお答えしたのは以上です。それぞれの一般質問については、教育総務部長のほうから答えさせていただきました。それについてはまた、協議会等でお話させていただければと思います。

私からの報告は以上でございます。

ただいまの報告に対して、ご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。

#### ○北内委員

私からは、出席・参加させていただいた行事等について報告させていただきます。

9月15日木曜日、第75回大田区立中学校陸上競技選手権大会（駒沢オリンピック公園陸上競技場）に出席させていただきました。曇天ではございましたが、競技にはちょうどよい天候に恵まれました。

代表生徒による選手宣誓では、コロナ禍によりこの2年、大会は中止に追い込まれ、特に昨年度は大会直前での中止で大変悔しい思いをした。今日、3年ぶりに開催できることに、大会関係者への感謝の気持ちを忘れないで、精いっぱい戦うことを誓いました。

大変立派な選手宣誓でした。主催者の一人として、大会中止に関して申し訳なく思いました。

大会は、トラック競技とフィールド競技ともに、選手宣誓どおり熱戦が繰り広げられました。特に女子タイムレース100メートルでは、約40年ぶり（昭和56年の記録）の大会記録更新があり、大変感動しました。感染症防止対策を講じ、本大会の企画・運営に多大なご尽力をいただきました中学校校長会をはじめ、大田区教育研究会 中学校保健体育研究部および保健体育科の先生方、引率の先生方、東京陸協の方々に厚く御礼を申し上げます。

次に、9月5日月曜日午前に、区立小学校の学区をパトロールさせていただきました。これは、9月3日土曜日に、この区立小学校PTAから私に、不審者（公然わいせつ）対策に関して相談がありました。9月5日の朝に、校長先生に了解いただき、児童の登校時間に合わせて学区内をパトロールさせていただきました。本件に関しては、教育委員会が早急に対応してくだり、感謝申し上げます。

私から、当該PTAには、PTA主催のパトロールを検討するように勧めました。おおた区報8月11日号でも、青色防犯パトロール（青パト）や自治会・町会など行っている自主防犯パトロール、児童誘導員などが紹介されており、大変ありがたく思っています。私がPTA会長の時に、「まずは自分の住むまちは自分たちで守りましょう」と保護者さんに伝え、パトロールを重視してきたので、そのことを当該PTAにお伝えしました。私は、今はもうPTA会員ではありませんが、今も街を歩くときはこのPTA旗を愛用させていただいています。これは抑止力になります。

次に、8月27日土曜日の午後に、「第36回蒲田小学校～夏祭り～」に参加いたしました。PTAがお声かけくださり、参加させていただきました。27日が1年生・3年生・5年生で、翌28日日曜日が2年生・4年生・6年生で、学年ごとに時間を分けて登校します。体育館に、輪投げや的当て、ヨーヨー釣りなど、コロナ対策をしながら出店されていました。

準備には、PTAだけでなく、高学年の児童も手伝ったと伺いました。その日は真夏日で、校長先生からは、体育館に空調があって良かったとお礼いただきました。浴衣姿の1年生が手をつないで出店で楽しんでいる姿を見て、大変ほほ笑ましかったです。コロナ禍でなければ地域ぐるみの盆踊りが開催されるそうですが、今年度はPTA主催で夏祭りを実施してくださいました。

主催してくださったPTAと開催許可してくださった校長先生および関係者の方々に感謝申し上げます。

それから、同じ日の8月27日土曜日の夜、志茂田中学校の夜警パトロールに視察・参加させていただきました。これは3年ぶりに雑色サマーフェスティバルが開催されるとい

うことで、生徒・児童の安全のためにパトロールするということでした。夜8時に志茂田中学校に集まって、おやじの会、PTA、校長先生をはじめ教職員5名程度、計30名程度が四つのグループに分かれて、雑色の商店街を中心にパトロールしました。子どもたちに「時間を守って帰るのだよ」という声かけをしながら歩きました。パトロールを通して、保護者、校長先生、教職員の方々と意見交換ができ、大変有意義なパトロールでした。

あとは、9月2日、大田区立中学校PTA連合協議会（教育委員会）と9月6日、大田区立小学校PTA連絡協議会（洗足池小学校）に出席させていただきました。各種行事が戻りつつあり、議論をされていました。夜遅くまで子ども、学校、地域のために尽力くださり、感謝申し上げます。

#### ○教育長

ほかに、ご意見、ご質問はありますか。

#### ○三留委員

教育長からSTEAM教育に関して地域との連携ということで話がございましたので、それに関連して話をさせていただきたいと思います。

今日の午前中、千東歴史の会という社会教育団体の代表の方と話をすることがございました。千東周辺で読み物資料を作っていくということで相談を受けました。私が30年前に作った勝海舟を通した歴史学習に関わる研究物を見たということで相談に来られたのですが、相談というよりも、大変歴史に造詣の深い方で、実は私の方が勉強させていただいたという感じでした。

企画を見せていただいたのですけれども、大変立派な内容で、今後地域のために役立つものができるのではないかと期待をしているところです。教育委員会としても、ご支援をいただければありがたいと思っております。

大田区の歴史にも大変詳しい方でしたので、地域のことについて学校から要望があれば、お話をしてほしいと伝えたところ、大丈夫ですということでした。

ただ、この会を含め、学校教育に有益ないろいろなボランティア団体があると思うのですが、こういう団体が各学校になかなか周知されていないのではないかと懸念があります。地域の優れた人材や資源を活用するという意味で、地域の人材バンクであるとか、教育資源バンクなどを作成して、各学校が情報共有して、有効に活用してもらいたいと考えています。今は、各校では、ものづくり学習等で地域とつながりを深めていますけれども、いろいろな教育活動の中で、地域人材、地域資源の活用をしっかり進めていただきたいと思っております。

#### ○深澤委員

先ほど教育長からSTEAM教育の話があつて、私は話を聞きながら、何が課題かなと考えていました。一つには、教育長のお話から、地域の企業や人材を活用して、それを学校に還元していくというのが一つのやり方であるということでしたが、それでは、地域、各校によって、格差が出てしまうのではないかと感じておりました。教科となるのに、地域によって格差が生じてしまうのはあまり好ましいことではないと考えています。先ほど

三留委員がおっしゃったように、情報の共有化を図れば、それは解消できるのかなと思いました。

あと、小学校を中心ということなのですが、小学校にとどめるのはもったいなく、中学校にも、またその視点を広げていっていただいて、大田区の小中学校を卒業するときには、STEAM教育による教育効果が高まった子どもたちが社会に出ていってくれることを期待したいと思いました。

○教育長

ありがとうございます。先ほどの議会の説明の中で申し上げた、いわゆる地域のプラットフォームというのが、それに当たってくるのかなと思います。そういう情報が集まってくるように、上手に各学校に提供していくということも検討していきたいと考えております。

他にはありますか。

○高橋委員

先ほどお話のあった防災活動拠点ですが、地域では先生と生徒と一緒に参加して、どういうふうにやるかということを経験すると、それを家庭に持って帰ると思うのです。なので、そのような訓練はとても有意義な活動だと思います。できるだけ多くの学校がそういう形で、子どもとともに防災活動拠点がどういうふうに活動しているかを知っていただければありがたいなと思います。

あと「君が代」のことなのですが、やはり国歌であり、子どもは全員歌えた方が、オリンピックなどでも国旗が揚がる時に一緒に歌えるということで、とても重要なことだと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

○教育長

それでは、ほかにご意見、ご質問はよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

○教育長

それでは、本日の第9回定例会につきまして閉会といたします。

(午後2時26分閉会)



令和4年 第9回 教育委員会 定例会 9月22日(木) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

副参事（法務担当）

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和4年9月22日

令和4年第9回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項